

# がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です  
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	GRAALL-2005/R
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	B-ALL
保険適応外の使用	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	ALL-020
登録日・更新日	2019年6月25日
削除日	
出典	N Engl J Med 2016;375 1044-1053
入力者	伊勢崎 竜也

投与順に記入(抗がん剤のみ)

INDUCTION THERAPY Prephase						
	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	希釈液					
	メトレキサート (注射用メトレキサート)	5mg	15 mg/body	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他( 髄注 )	-	day-7 ~ -4
	生理食塩液	5mL				
No.2	プレドニゾン (プレドニゾン錠「NP」)	5mg	60 mg/m <sup>2</sup> /day	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他( 内服 )	1回/日	day-7 ~ -1

1コースの期間	
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能( ) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	【中止・延期基準】 Pit<5万/ $\mu$ L、PT-INR >1.4、APTT > 38秒
前投薬	
その他の注意事項	<p>◆併用注意薬</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘパリンNa (6時間以内の併用)</li> <li>・低分子ヘパリン(12時間以内の併用)</li> <li>・抗血小板薬 クロピドグレル、チクロピジン、など</li> <li>・抗凝固薬 アピキサバン、ダビガトラン、ワルファリン など</li> <li>・内服の併用注意薬の休薬期間は、院内の「凝固系薬術前休薬一覧」に準拠する。</li> </ul> <p>※アスピリンは併用してもよい ※ヘパリンカルシウム(ヘパリン皮下注)は10000U/dayまでは併用してもよい *1 原則、総量が5mLになるように調製する。</p> <p>・髄注は期間内に 1 回行うこと。</p>

記入者	伊勢崎 竜也
確認者	寺尾 俊紀